

# 教員養成研修プログラム改善調査

令和2年11月24日

【速報】

秋田大学教育文化学部  
教員養成・研修プログラム検討ワーキング

教員養成研修プログラム改善調査 【2020/11/24 速報】

教員養成・研修プログラム検討ワーキング

(実施期間) 令和2年11月10日～11月16日

(調査方法) Web 回答システム

(回答件数) 学生・大学院生 : 270件

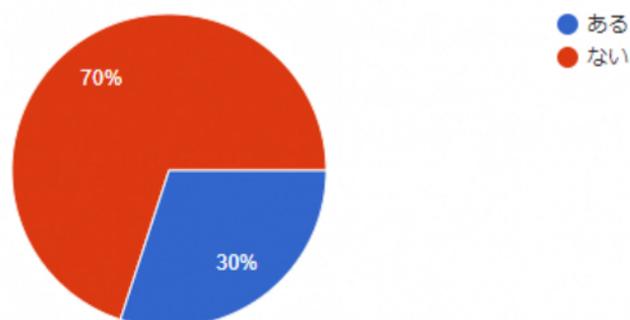
学部・大学院教員 : 67件

附属学校園教員 : 74件

(集計日) 令和2年11月17日

I 学生・大学院生用 (回答件数: 270件)

1 あなたは、学部あるいは大学院の授業の中で、附属学校園の研究成果を取り入れた授業を、1回でも受けたこと（例：「国語科教育学演習Ⅰ・Ⅱ」の教材研究と模擬授業の際に、過去の附属小学校の公開研究協議会やオープン研修会の研究授業の資料を参考にして、同じ教材に取り組んだ。）がありますか？当てはまるものを選んでください。  
(270件の回答)



1-1 「ある」と答えた人に伺います。その授業名を教えてください。(75件の回答)

<専門基礎科目>

- ・教職入門(3)
- ・教育方法技術論(4)
- ・教育課程論
- ・情報教育実践論

## 教員養成研修プログラム改善調査

### <基盤科目>

- ・ 道徳教育論 I
- ・ 総合的な学習の時間 I (2)
- ・ 幼児の理解と指導

### <初等教科教育学>

- ・ 初等国語科教育学(6)
- ・ 初等社会科教育学(2)
- ・ 初等社会科教育学(3)
- ・ 初等算数科教育学(4)
- ・ 初等図工科教育学
- ・ 初等英語科教育学(2)

### <中等教科教育学>

- ・ 国語科教育学演習 I (2)
- ・ 国語科教育学演習 II (2)
- ・ 国語科教育学演習 I(2)
- ・ 社会科教育学演習
- ・ 数学科教育学(2)
- ・ 理科教育学演習
- ・ 理科教育学演習Ⅲ
- ・ 英語科教育学演習 I (2)
- ・ 英語科教育学演習 II (2)
- ・ 英語科教育学演習Ⅲ(4)
- ・ 英語科教育学演習Ⅳ(4)

### <初等教科・領域専門>

- ・ 初等社会
- ・ 初等科学

### <幼児教育・保育学>

- ・ 保育の内容と方法

### <実践科目>

- ・ 教育実習事後指導

### <大学院科目>

- ・ 秋田の授業力の継承と発展(2)
- ・ 教育実践力の向上と秋田型協同研究システム(2)
- ・ 教職経営プロジェクト I

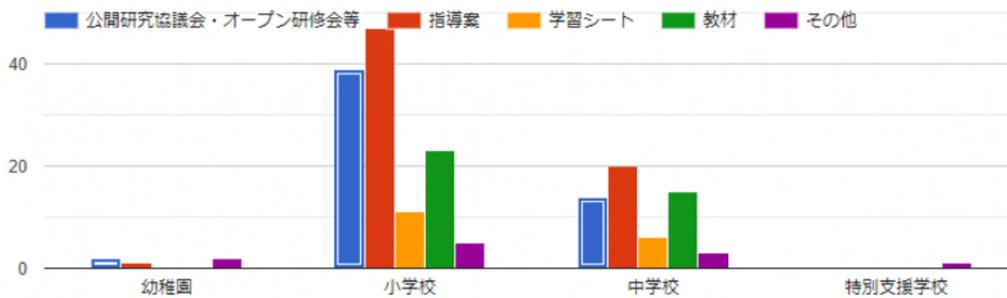
### <未分類>

- ・ 附属幼稚園 好きな遊び

## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・理科
  - ・覚えていない
- \* A, B等の区分はしていない。  
\*( )内は件数。

1-2 「ある」と答えた人に伺います。取り入れられていた成果はどのようなものでしたか。当てはまる附属学校園で該当するものを選んでください。

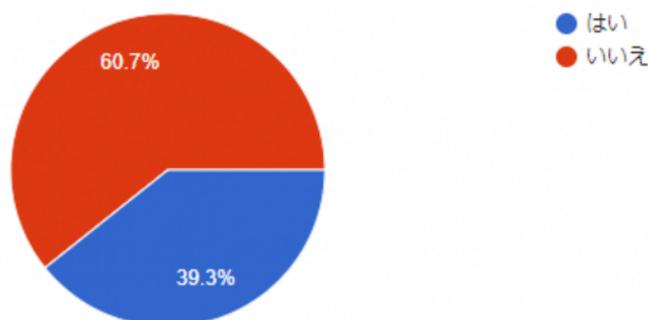


1-3 1-2の「その他」について、具体的内容を記入してください。(8件の回答)

- ・実際の授業の様子をカメラで記録した映像。
- ・授業を見学した人にカメラをつけてもらって視点をみる。
- ・副校長・副園長先生の講話。
- ・現役の教師の講話。
- ・授業の様子を撮影したビデオを見る。
- ・授業の様子を撮影したビデオなど。
- ・1年次のときに公開研究協議会に参加し、研究授業について話し合った。
- ・実際の幼稚園での様子を撮影したビデオ。

## 教員養成研修プログラム改善調査

2 あなたは、これまでの教育実習及びその前後で、学部や大学院の授業で学んだことが役に立ったと感じたこと（例：「初等社会科教育学」の高学年の「日本の産業」に関する資料づくりで、提示する資料と児童から引き出す内容の検討方法について、附属小学校の先生に来ていただいて助言を受けた経験が、実習中の自分の研究授業の学習プリントの作成に役立った。）がありますか。当てはまるものを選んでください。（270件の回答）



2-1 「はい」と答えた人に伺います。役に立った内容は、何という授業のどのようなものですか。その授業名を教えてください。（95件の回答）

<教養教育科目>

- ・心理学 I

<基礎教育科目>

- ・生涯発達心理学 II

<専門基礎科目>

- ・教職入門

<基盤科目>

- ・道徳教育論 I / 内容項目の自己分析に対する考え方が役立った。
- ・生徒の理解と指導
- ・教育臨床概論 I (2) / 子どもの発達段階や心理面の変化、学校現場におけるトラブル対処などについて学習し、学習指導だけではない、教師に必要な役割や心構えを、事例を交えて学ぶことが出来た。
- ・教育臨床概論 II (2) / 子どもの発達段階や心理面の変化、学校現場におけるトラブル対処などについて学習し、学習指導だけではない、教師に必要な役割や心構えを、事例を交えて学ぶことが出来た。

<初等教科教育学>

- ・初等国語科教育学(3) / 教材研究。生徒に興味を持って授業に取り組むための工夫。
- ・初等社会科教育学(5) / 指導案作り。全般的に小学校の授業において子どもに興味を持ってもらう方法を取り上げていたため、わかりやすかった。附属学校園の先生から受けた授

## 教員養成研修プログラム改善調査

業の学習課題の立て方が役に立った。

- ・初等算数科教育学(2)／公開授業の参観の仕方について詳しく知り，どんなことに注目すればいいのか分かったので教育実習は参観が主だったがたくさんのことを吸収できたと思う。参観した教科も実習の模擬授業と同じ算数だったので児童が主体の授業づくりに役立った。

・初等理科教育学

- ・初等英語科教育学(3)／評価の仕方や授業設計など。授業づくり。

<中等教科教育学>

- ・国語科教育学演習(2)／模擬授業と検討。指導論，教材研究の仕方

・国語科教育学演習 I

・国語科教育学演習 II

- ・国語科教育学演習 V／模擬授業と教材づくり

・社会科教育学

・公民科教育学演習

・数学科教育学

・数学科教育学演習 I

- ・数学科教育学演習(3)／模擬授業。

・理科教育学演習(2)／指導案づくり。模擬授業。

- ・理科教育学演習 I／中学校理科の各領域の学習指導案を作成する中で、「教師の支援」の書き方や工夫のアイデア・ねらいと学習活動と評価の一体化を図る手立てを,附属中学校などの学習指導案を参考にした。その経験が実習中の教材研究や研究授業の学習指導案作成に役立てることができた。

- ・理科教育学演習 III／中学校理科の各領域の学習指導案を作成する中で、「教師の支援」の書き方や工夫のアイデア・ねらいと学習活動と評価の一体化を図る手立てを,附属中学校などの学習指導案を参考にした。その経験が実習中の教材研究や研究授業の学習指導案作成に役立てることができた。

- ・理科教育学演習 IV／中学校理科の各領域の学習指導案を作成する中で、「教師の支援」の書き方や工夫のアイデア・ねらいと学習活動と評価の一体化を図る手立てを,附属中学校などの学習指導案を参考にした。その経験が実習中の教材研究や研究授業の学習指導案作成に役立てることができた。

・理科 ICT 活用教育

・音楽科教育学演習

・音楽科教育学演習 III

・英語科教育学

・英語科教育学演習

- ・英語科教育学演習 I (3)／子どもに目的意識を持たせる方法について考えた経験を中学校

## 教員養成研修プログラム改善調査

副免実習の実習授業で生かした。指導案・ワークシート作成, ALT とのコミュニケーション。

- ・英語科教育学演習Ⅱ(2)／子どもに目的意識を持たせる方法について考えた経験を中学校副免実習の実習授業で生かした。
- ・英語科教育学演習Ⅲ(3)／子どもに目的意識を持たせる方法について考えた経験を中学校副免実習の実習授業で生かした。指導案・ワークシート作成, ALT とのコミュニケーション。
- ・英語科教育学演習Ⅴ／「音の連結」について学習した。公立中学校の生徒たちは, リスニングの学習の時に音の連結がある箇所の聞き取りを苦手としていたため, 実習を終えて考察を行う際にこの授業で学習したことが役立った。

### <初等教科・領域専門>

- ・初等社会
- ・初等算数
- ・初等音楽／鑑賞曲を扱う際の注目箇所や, どのように授業を進めるかについて, ご指導をいただいた。
- ・初等外国語(2)

### <中等教科専門>

- ・スポーツ実習Ⅳ(器械運動)

### <幼児教育・保育学>

- ・子ども発達援助論
- ・保育の内容と方法(2)
- ・幼児教育指導法

### <教育学・心理学>

- ・教育学演習Ⅰ

### <実践科目>

- ・教育実習
- ・事前事後指導／道徳の指導案の作り方など。
- ・教職総合基礎／大学院の先生方や教員を経験された先生方の講話をもとにグループワークをした時に, 学校現場の実際を知らながら自分たちの意見を考えることができ, とても勉強になりました。
- ・教職発展演習／大学院の先生方や教員を経験された先生方の講話をもとにグループワークをした時に, 学校現場の実際を知らながら自分たちの意見を考えることができ, とても勉強になりました。

### <心理実践>

- ・教授・学習の心理学／知識の獲得。

### <大学院科目>

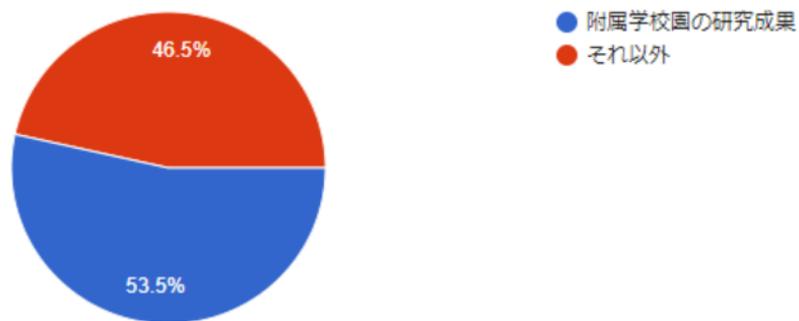
## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・秋田の授業力の継承と発展(4)／作成した授業案(指導案)が、そのまま実習授業として生かすことができた。授業づくり。
- ・道徳教育の理論と実践／道徳に対する知識。
- ・特別活動の理論と実践
- ・教科教育実践の理論と展開／研究内容に近い論文の研究
- ・教職経営プロジェクト I (2)

<未分類>

- ・食と健康
- ・心理学の世界－身近な対人関係の崩壊と維持－
- ・文章吟味について。
- ・数学の相似の学習の授業づくり。
- ・10より大きい数。
- ・ほぼすべての授業。
- ・指導案の作成。
- ・保育系の授業。
- ・忘れたが、複数の保育の講義を通して、総合的に学び身につけることができたと感じている。
- ・実習の際の授業づくりの参考にした。
- ・忘れてしまいました。すみません。
- ・覚えていない。

2-2 「はい」と答えた人に伺います。役に立った内容は、どの研究成果でしたか。当てはまるものを選んでください。(101件の回答)



2-3 2-2の「それ以外」について、具体的内容を記入してください。(43件の回答)

<キーワード「指導(出現頻度:9)」関連>

- ・秋田県の指導案の枠組み。
- ・指導案や授業作りについて。

## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・指導案作成，指導法，掲示物作成。
- ・これまでの先生が執筆された指導案の検討。
- ・指導案を作成したことが，教育実習に役立った。
- ・指導案の書き方，見方，ずれの確認の仕方を学んだ。一番分かりやすかった。
- ・研究成果ではなく指導案の添削などの実践的内容。
- ・指導案の作成，添削

<キーワード「授業（出現頻度：8）」関連>

- ・東成瀬村の小学校の先生にお越しいただき，算数の授業に関する教材づくりや苦手な子に対するアプローチについて学んだ。
- ・実習校での授業。
- ・川尻小学校での研究授業。
- ・現職の先生に実際にプレゼンテーションをしていただき，小学校での英語教育や中学校での英語教育について理解を深めました。そこでの知識や経験したことが実習での授業展開や自分の授業観察の視点などに役立ちました。
- ・授業実践。
- ・模擬授業。
- ・自分の模擬授業へのコメント等。
- ・講義内で行った模擬授業。

<キーワード「先生（出現頻度：6）」関連>

- ・先生自身のもの。
- ・大学院の先生方や秋田県で教員をされた先生方の研究成果。

<キーワード「研究（出現頻度：5）」関連>

- ・教授の研究。
- ・役立ったものが大学の教授方からのご指導であるため，どの研究成果かは私は分かりません。

<キーワード「教授（出現頻度：5）」関連>

- ・大学の教授の話していたことを参考にした。(3)

<キーワード「成果（出現頻度：5）」関連>

- ・公立中学校の研究成果

<キーワード「実践（出現頻度：4）」関連>

- ・附属学校園も含まれるのかもしれないが先人の様々な教育実践。
- ・具体的な実践する上での注意事項

<キーワード「教材（出現頻度：4）」関連>

- ・教材の引き出し方，ICTの活用法について
- ・教材分析の方法(2)

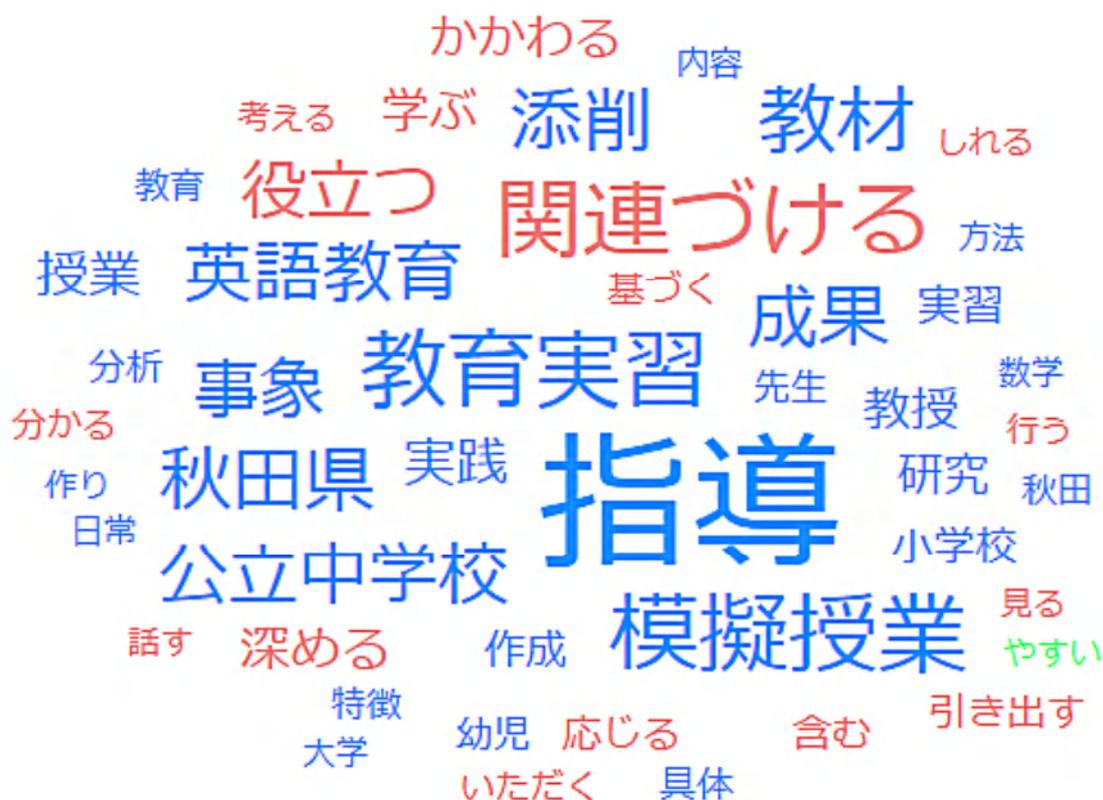
<キーワード「教育実習（出現頻度：2）」関連>

・教育実習Ⅱにおける公立中学校の成果

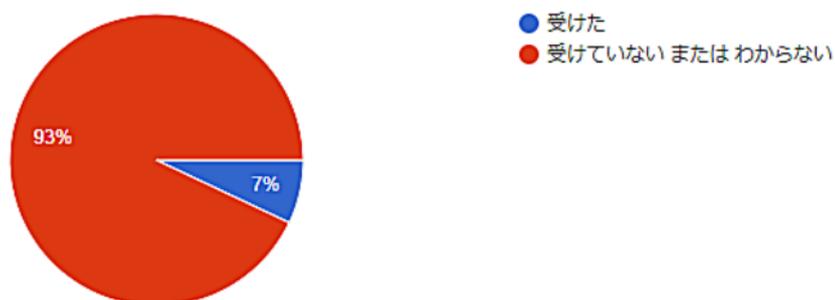
<その他のキーワード>

- ・全国学力状況調査の結果。
  - ・年齢に応じた特徴。
  - ・生徒の発達段階や諸問題への対応。
  - ・子どもとのかかわりで大切なことを事例を元に考えて学んだこと。
  - ・幼児とのかかわり方について。
  - ・数学的事象と日常における具体的事象の関連づけ。
  - ・秋田の教育の方法の変遷について。
  - ・実体験に基づくもの。
  - ・栄養素等。
  - ・塾のアルバイトや日々の実生活での心理的变化を客観視に見やすいこと。
  - ・分かりません。
- \* 各回答に含まれる出現頻度の多い検出単語をもとに分類・整理。検出単語が重複する回答は、出現頻度の多い検出単語に整理。

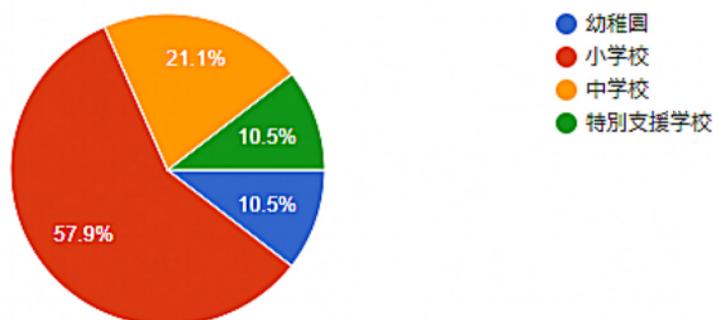
<テキスト解析>



3 附属学校園での実習で、附属学校園の研究成果を踏まえた指導（例：参観した指導教員の授業や、自分が行った授業について、実習に行った年の6月にあった公開研究協議会の事例と比べたり、「自律した学習者」の考え方に当てはまるかを検討したりした。）を受けましたか。当てはまるものを選んでください。（270件の回答）



3-1 「受けた」と答えた人に伺います。それはどこの研究成果でしたか？当てはまるものを選んでください。（19件の回答）



3-2 「受けた」と答えた人に伺います。その研究成果の内容を教えてください。（14件の回答）

- ・ 児童への言葉掛けや言葉の表現(2)。
- ・ ミエルトーク(2)。
- ・ 個と協働的な学びをつなぎ資質・能力を高める社会科学習。
- ・ 児童が問いをねりあげて授業に臨むこと。
- ・ 児童同士の対話の深め方について。
- ・ 公開研究会。
- ・ 内容は忘れたのですが、公開研での子どもの様子などと、今の様子を比べての検討会をしたように思います。
- ・ 問題解決の流れを自ら発想し、自然界を科学的に解釈しようとする子どもを育む取り組み。

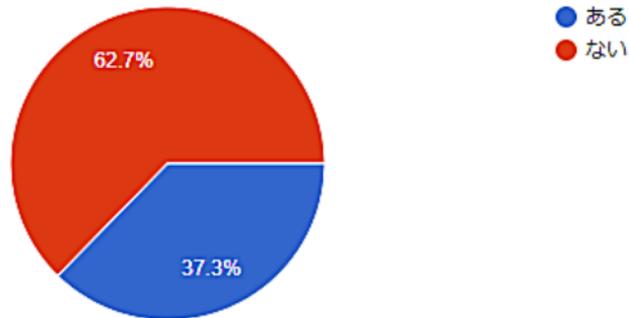
## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・教師の発問の工夫。
- ・総合的な学習の時間。
- ・見える化。
- ・附属小学校算数科校内研修。

## 教員養成研修プログラム改善調査

### II 学部・大学院教員用（回答件数：67 件）

1 あなたは、学部あるいは大学院の授業の中で、附属学校園の研究成果を取り入れた授業をしたこと（例：「算数・数学科教育学演習Ⅰ」で教材研究に取り組み、その際に過去の附属小学校の公開研究協議会やオープン研修会の資料を配付して参考にさせている。）がありますか？当てはまるものを選んでください。（67 件の回答）



1-1 「ある」と答えた人に伺います。その授業名を教えてください。（24 件の回答）

<専門基礎科目>

- ・教授・学習の心理学Ⅰ
- ・教育方法技術論Ⅰ

<基盤科目>

- ・道徳教育論Ⅰ

<初等教科教育学>

- ・初等算数科教育学
- ・初等英語科教育学
- ・初等理科教育学演習

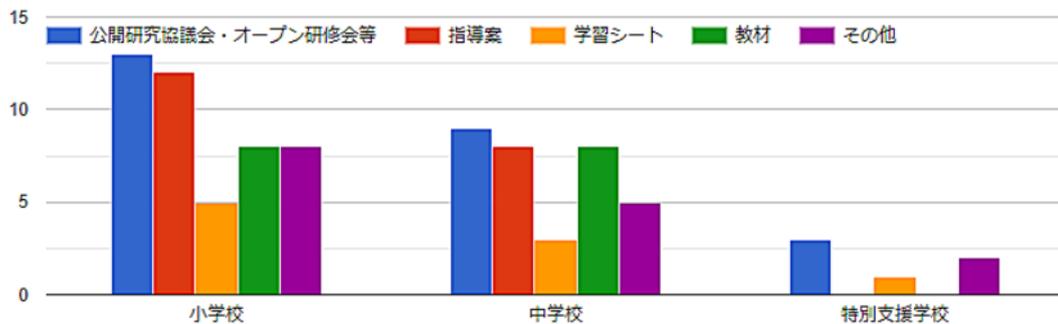
<中等教科教育学>

- ・国語科教育学演習
- ・国語科教育学演習Ⅰ
- ・国語科教育学演習Ⅱ,
- ・数学科教育学
- ・数学科教育学演習Ⅴ
- ・理科 ICT 活用教育
- ・音楽科教育学演習Ⅳ
- ・美術教育学演習
- ・保健体育科教育学
- ・家庭科教育学演習Ⅰ

教員養成研修プログラム改善調査

- ・家庭科教育学演習Ⅱ
- ・英語科教育学演習Ⅰ
- <初等教科専門>
- ・初等図画工作
- ・初等体育ⅡA
- <中等教科専門>
- ・基礎物理実験
- ・構成・基礎造形Ⅰ
- <特別支援教育学>
- ・発達障害病理概論
- <教育学・心理学>
- ・産業・組織心理学
- ・言語障害教育総論
- <理工学部科目>
- ・数学科教育法Ⅰ
- <大学院科目>
- ・個のニーズに応じたカリキュラムの編成
- ・秋田の授業力の継承と発展
- ・インクルーシブの理念と特別支援教育の推進
- ・ふるさと秋田のキャリア教育
- ・道徳教育の理論と実践
- ・特別活動の理論と実践(2)
- ・秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価(2)
- ・小学校英語の理論と実践
- ・特別支援教育の教育課程の実施と評価

1-2 「ある」と答えた人に伺います。取り入れられていた成果はどのようなものでしたか。当てはまる附属学校園で該当するものを選んでください。

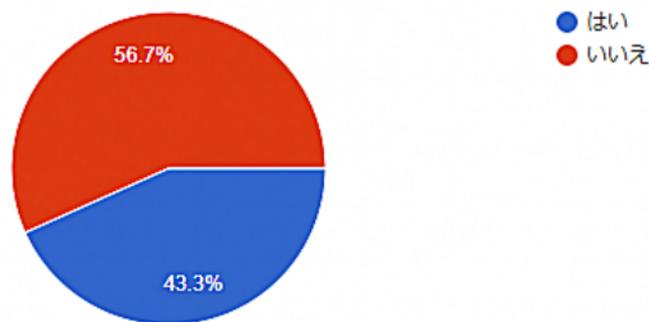


## 教員養成研修プログラム改善調査

1-3 1-2の「その他」について、具体的内容を記入してください。(10件の回答)

- ・キャリア教育全体計画。
- ・附属中学校の教諭(保健体育)を招き実際の仕事内容や教職を目指した契機等を講話してもらった。附属小学校教諭に体育の出前授業をしてもらった。
- ・映像資料。
- ・児童の制作物。
- ・小中学校での経験をもとに理科教育(地学分野)の教育をしている。
- ・授業動画。
- ・指導方法の工夫。
- ・授業ビデオの検討など。
- ・公開等の事前や事後の授業の映像や制作物など。
- ・共同研究による教育実践。

2 学部生や大学院生から、これまでの教育実習及びその前後で、学部や大学院の授業で学んだことが役に立ったという話(例:「初等社会科教育学」の高学年の「日本の産業」に関する資料づくりで、提示する資料と児童から引き出す内容の検討方法について、附属小学校の先生に来ていただいて助言を受けた経験が、実習中の自分の研究授業の学習プリントの作成に役立った。)を聞いたことがありますか。当てはまるものを選んでください。(67件の回答)



2-1 「はい」と答えた人に伺います。役に立った内容は、何という授業ですか。その授業名を教えてください。(42件の回答)

<専門基礎科目>

- ・教育方法技術論 I

<基盤科目>

- ・道徳教育論 I

<初等教科教育学>

- ・初等算数科教育学

## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・初等生活科教育学
- ・初等英語科教育学,
- <中等教科教育学>
- ・国語科教育学演習
- ・国語科教育学演習 I
- ・国語科教育学演習 II
- ・数学科教育学
- ・数学科教育学演習 II
- ・理科教育学演習 I
- ・理科教育学演習 III
- ・理科教育学演習 IV
- ・美術科教育学
- ・保健体育科教育学
- ・保健体育科教育学演習 III
- ・家庭科教育学演習
- ・家庭科教育学演習 I
- ・家庭科教育学演習 II
- ・英語科教育学演習 I
- <初等教科・領域専門>
- ・初等社会
- ・初等体育 II A
- <中等教科専門>
- ・自然地理学概論
- ・哲学概論（思想史概論）
- ・基礎物理
- ・化学概論
- ・基礎地学
- ・地学概論
- ・基礎生物実験 I
- ・基礎地学実験
- ・構成・基礎造形 I
- <大学院科目>
- ・秋田の授業力の継承と発展(3)
- ・インクルーシブの理念と特別支援教育の推進
- ・秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価
- ・教職実践リフレクション

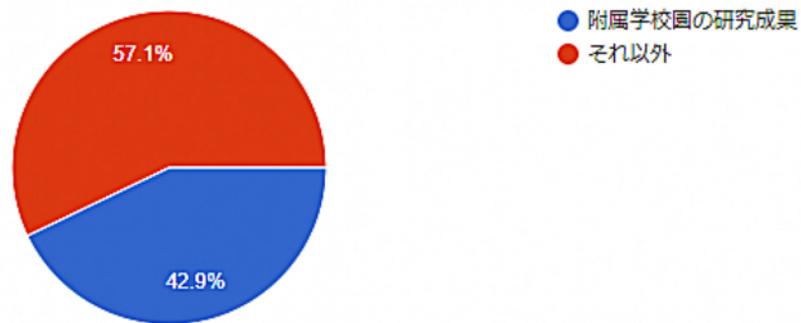
## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・教職実践インターンシップⅠ
- ・教職実践インターンシップⅡ
- ・教職大学院の授業全般です。

<その他>

- ・授業名は特定できないが、指導案の書き方、模擬授業などが役に立ったという意見が多い。
- ・高等部「作業学習」における授業。

2-2 「はい」と答えた人に伺います。役に立った内容は、どのようなものですか。当てはまるものを選んでください。(28件の回答)



2-3 2-2の「それ以外」について、具体的内容を記入してください。(17件の回答)

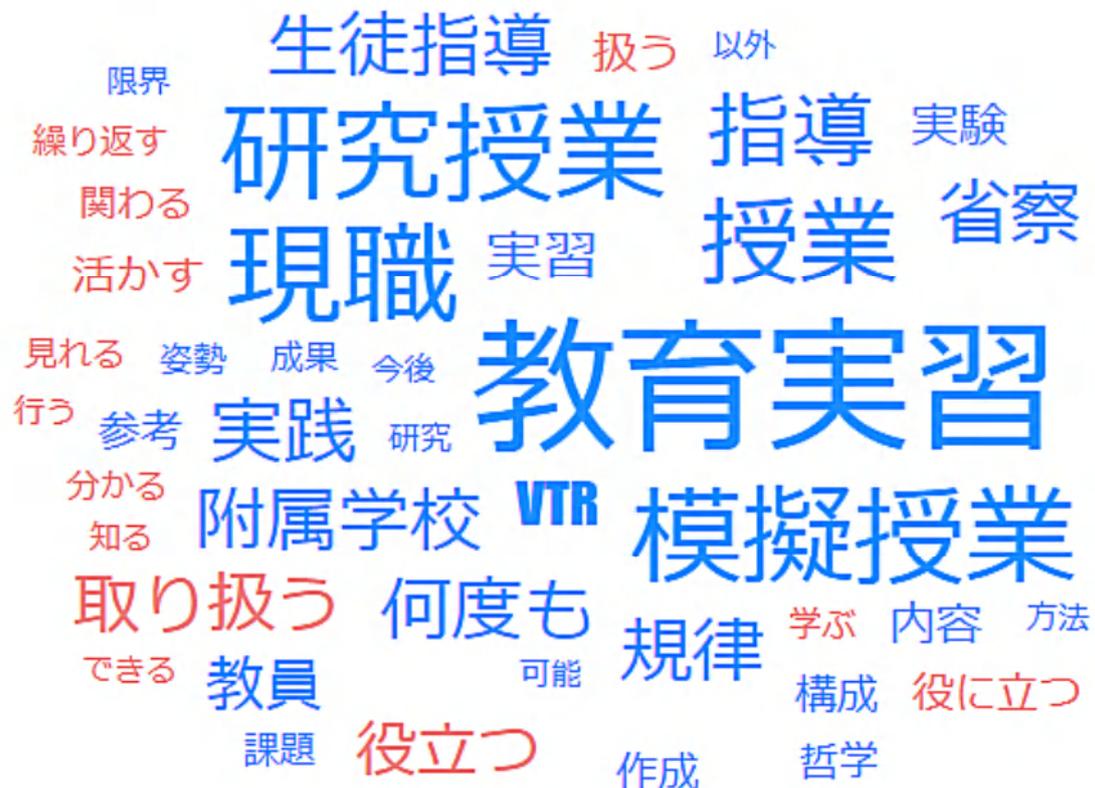
<キーワード「授業（出現頻度：10）」関連>

- ・授業実践に関わる発問、板書構成、学習規律、生徒指導等。
- ・附属学校園の研究成果については現職教員の講話や模擬授業の内容、指導に対する姿勢がよく分かり役に立った。それ以外もあったが、授業のVTRを見れたのが参考になった。また、何度も繰り返し模擬授業で指導を行いその省察をすることで自分の実践の可能性と限界を知り、今後の教育実習に活かすべき課題が分かった。
- ・探究の方法と授業の立案、学習指導案の書き方、安全な実験方法等。
- ・授業内容が役立ったとのことでした（だいぶ前の話です）。
- ・リフレクションによる授業改善のための協議。
- ・非常勤の小松睦子の授業実践。
- ・実習での研究授業。
- ・美術科において配色方法に関する授業を展開する上で、当該授業で扱った色彩システム等に関する内容が参考になった。
- ・実習での教材作成のために授業内容が参考になった。
- ・基礎生物実験Ⅰで学んだ実験内容を教育実習での研究授業で取り扱った。
- ・授業の課題設定と構成の仕方、資料やプリントの作成。

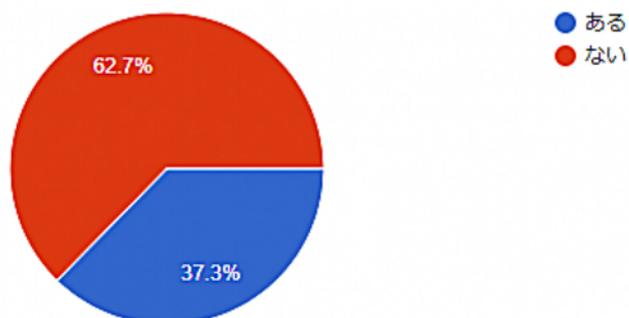
<その他のキーワード>

- ・哲学の知識が国語の現代文の解説に役立った。
  - ・現職の教員が作成した指導案。
  - ・いろいろです。
  - ・指導案。
  - ・電池の仕組みとはたらき。
  - ・雲のでき方についての教材研究や実験実践。
- \*各回答に含まれる出現頻度の多い検出単語をもとに分類・整理。検出単語が重複する回答は、出現頻度の多い検出単語に整理。

<テキスト解析>



3 現在の教育実習について、課題だと思えることはありますか。当てはまるものを選んでください。(67件の回答)



3-1 「ある」と答えた人に伺います。それを改善するために具体的なアイデアがあれば教えてください。(22件の回答)

- ・ I 期実習を 2 年次で行っているが、学生の精神的発達が未熟であること。
- ・ 地域文化学科の学生についても実習後の面談やポートフォリオの記入を担当がすることになっていますが、指針などなく、各段階においてどのように指導したらよいのかわからず困ることがままあります。免許を持っていれば県庁（行政職）の採用試験で有利だと思う、ろくな教師がいらないから自分が教員になって学校を変えてやる、教員になる気はないが取れる資格は取っておきたいなど、実習後に真顔で言う学生の指導に直面し、対応に苦慮しました。地域文化学科の学生についても、教育実習について詳しく知らない地域文化学科の教員ポートフォリオ面談での指導について、大まかにでよいので、指針やガイドラインを設けていただけないのでしょうか。
- ・ 実習中訪問の際に、複数の実習生がいる場合、ある特定の学生は研究授業がみれるが、他の学生には声掛けだけのように関わり方に差がしやすいこと。
- ・ 評価の公平性、評価基準の策定。
- ・ 学科所属教員は、現在の教育実習のあり方を知る機会が乏しい。本学部として、教育実習をより良いものにするためにどのような取り組みを行っているのかを、より積極的に発信しても良いのではないかと。
- ・ 教育実習で現場に触れる機会が多いことは大変良い経験になると思いますが、実際に学生がどのように考えているのか実態調査をするのが良いのではないかと。それで大きな問題がなければ、現在の教育実習で良いと思います。
- ・ 実習前の事前準備に十分な時間を設定する。
- ・ 4 年生での副免実習の時期が少し遅いのではないかと感じる。主免以外の校種を受ける人だけでも、二次試験対策になるように日程をずらすことはできないだろうか？
- ・ 教育実習で実習生が各実習校で行っている内容が、ほとんど学部の教員にフィードバック

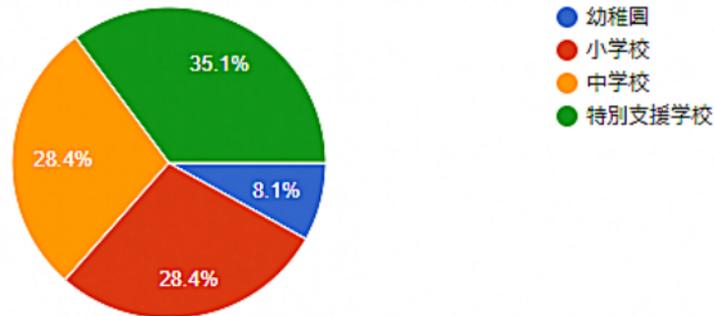
## 教員養成研修プログラム改善調査

されていないこと。もし学部教員にフィードバックされると、場合によっては学部授業内容にそれを反映可能な内容もあるように思います。

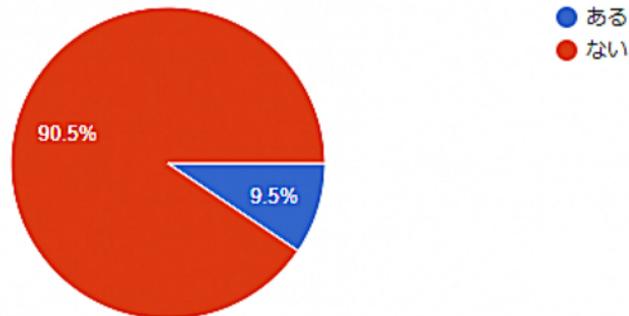
- ・これまで学部学生の声聞く機会があり、附属小学校（2年）・公立小学校（3年）で配属される学年への考慮が必要であると思われる。公立学校に依頼する前に、配属学年に関する何らかの事前調査は可能であると思われる。
- ・現在の学部2年次生は、教育実習に行くためのモラルや知識が不十分であり、実習受講の準備が整っていないため、最初の教育実習を2年次の夏ではなく、2年次の後期以降にするか、できれば3年次からにする。
- ・カリキュラム・マネジメントやプログラミング教育など新しい教育課程に対応した内容を取り入れていくこと。
- ・実習校（附属、公立校）にお任せにならないように、学部との一掃の情報共有が必要だと思います。実習での授業回数は、もっと多くても良いのではないかと思います。授業は見るのも大切ですが、実践を通じて得ることが大きいと思います。
- ・学校教育課程の教員が教育実習により積極的に関与するために、全員が附属でのI期実習を参観するシステムにしてはどうでしょうか。
- ・受験希望校種の副免実習については、早い時期に実施できるようにすること。
- ・大学教員がより具体的に教育実習指導に関わることができる仕組みづくり。
- ・カンファレンスの持ち方の改善。
- ・実習授業が主に専門教科になってしまうこと。
- ・現職教員にメンターとして体験をもっと積ませたい。
- ・社会人としての基礎マナーの徹底、教材研究の具体的な進め方の確認。
- ・教育実習の事前指導の充実（指導案作成だけでなく、指導の手立てやコツのようなものの伝授が必要）
- ・ポートフォリオが手書きであるため、学生も担当教員も負担が大きい。データ化してファイルにするなど、効率的に振り返りができないか。

III 附属学校園教員用（回答件数：74 件）

1 所属する学校園を選んでください。（74 件の回答）



2 実習生などから、学部あるいは大学院の授業の中で、附属学校園の研究成果を取り入れた授業があるという話（例：本校から大学院に現職院生として入学した同僚から、「秋田の授業力の継承と発展」で、過去の附属中学校の公開研究協議会やオープン研修会の研究授業の動画を視聴して、「秋田の探究型」授業の研究に取り組んだと聞いている。）を聞いたことがありますか？当てはまるものを選んでください。（74 件の回答）

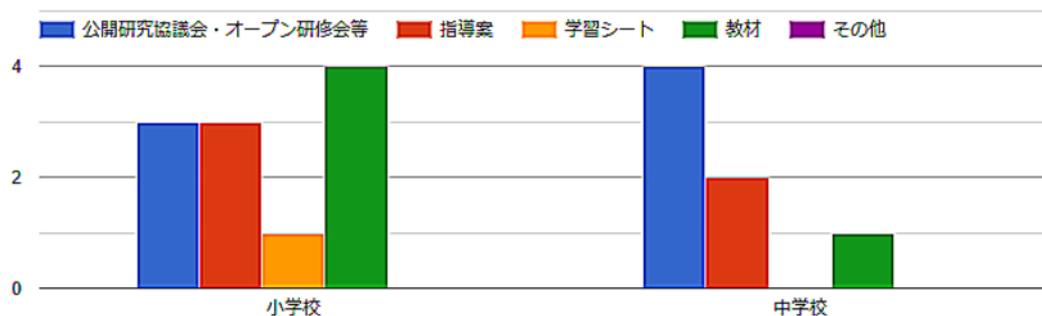


2-1 「ある」と答えた人に伺います。その授業名を教えてください。（7 件の回答）

- ・国語
- ・国語科の演習系の授業
- ・数学
- ・算数
- ・保健体育
- ・道徳(2)
- ・特別活動
- ・秋田の授業力の継承と発展(3)
- ・教育実践力の向上と秋田型協働研究システム

## 教員養成研修プログラム改善調査

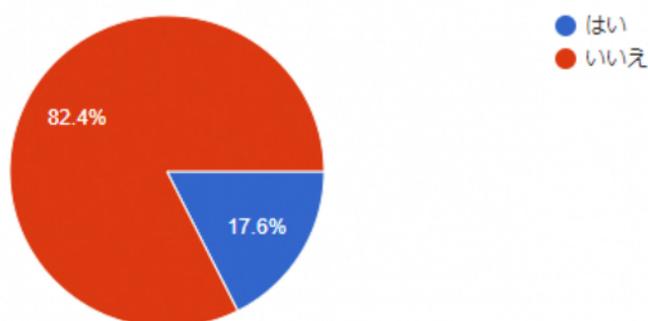
2-2 「ある」と答えた人に伺います。取り入れた成果はどのようなものですか。当てはまる附属学校園で該当するものを選んでください。



2-3 2-2の「その他」について、具体的内容を記入してください。(0件の回答)

・この質問にはまだ回答がありません。

3 学部生や大学院生から、これまでの教育実習で、学部や大学院の授業で学んだことが役に立ったという話(例:「初等社会科教育学」の高学年の「日本の産業」に関する資料づくりで、提示する資料と児童から引き出す内容の検討方法について、附属小学校の先生に来ていただいて助言を受けた経験が、実習中の自分の研究授業の学習プリントの作成に役立った。)を聞いたことがありますか。当てはまるものを選んでください。(74件の回答)



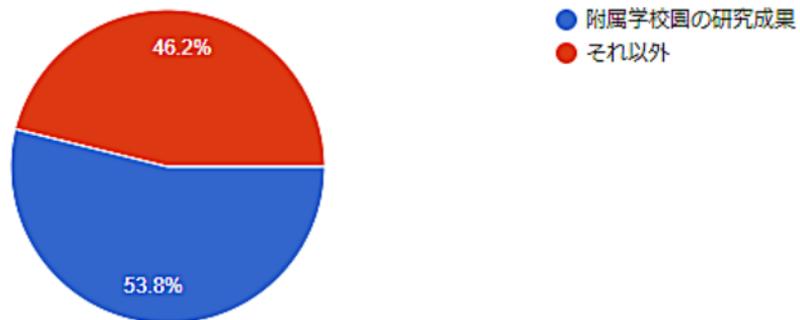
3-1 「はい」と答えた人に伺います。役に立った内容は、何という授業ですか。その授業名を教えてください。(13件の回答)

- ・初等社会科教育学(4)／公開研究協議会で授業を行った先生にきていただき、授業の解説に加え、教材研究や資料の活用方法を教えていただき、授業づくりや教材研究に役立っている。クニマス。白神山地。
- ・教育実習事前指導。
- ・ICTを使った授業(動点の問題など)。
- ・模擬授業演習(正式名称は分かりません)。

## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・音楽で箏の授業とオペラの授業。
- ・器械運動の授業。
- ・英語系の授業。
- ・授業名までは分からない。(2)
- ・分からない。

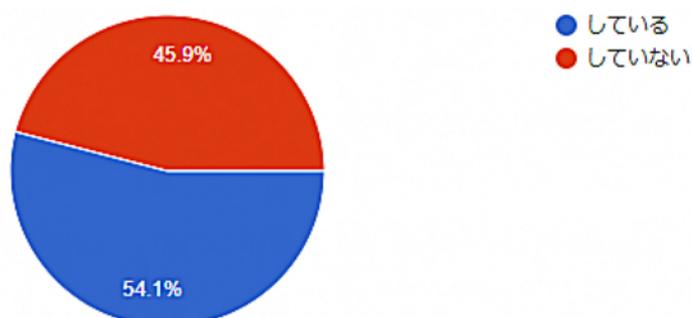
3-2 「はい」と答えた人に伺います。役に立った内容は、どのようなものですか。当てはまるものを選んでください。(13件の回答)



3-3 3-2の「それ以外」について、具体的内容を記入してください。(6件の回答)

- ・模擬授業や指導案の再検討。
- ・障害特性や対応の仕方を学んでいたことが役に立ったと聞いたことがあります。
- ・英語の授業で、大学で学んだ音読のやりかたを実践していました。
- ・大学で学んだ箏やオペラの基礎知識が教材研究に役に立った。
- ・カンファレンスの中で子どもの思いを代弁することや思いに寄り添うことの大切さを授業でも学んだが改めて分かったというふうに言っていた。
- ・大学でのオンライン学習。

4 教育実習の指導で、自校または他の附属学校園の研究成果を踏まえた指導（例：参観した指導教員の授業や、自分が行った授業について、実習に行った年の6月にあった公開研究協議会の事例と比べたり、「自律した学習者」の考え方に当てはまるかを検討したりした。）をしていますか。当てはまるものを選んでください。（74件の回答）



4-1 「している」と答えた人に伺います。それはどのような研究成果ですか？研究成果の内容を教えてください。（40件の回答）

<キーワード「授業（出現頻度：10）」関連>

- ・「生涯学習力を高める授業づくりのポイント」を活用した授業づくり
- ・グループと全体の「対話」の往還を生かして学びを深めること。子どもの気付きや問いを生かして課題設定などを行う授業づくり。
- ・秋の公開研究会の事前授業を参観してもらう。
- ・全校研究授業の成果や助言を生かして、生徒が自ら問題に気付き、解決していくための手立て等ついて検討した。
- ・子どもが主体的に学びに向かう授業の展開。
- ・対話的な授業。
- ・日々の授業における指導。
- ・生涯学習力を高める授業づくり(マルチ知能の視点を取り入れた)。
- ・省察の場面を位置付けた授業。
- ・障害者の生涯学習を進めるための学校における授業の工夫。

<キーワード「研究（出現頻度：8）」関連>

- ・公開研究会や年度ごとに取り組んでいる研究成果。
- ・児童生徒の生涯学習力を高める教育課程の編成（今年度の研究）
- ・対話的で深い学びの研究成果。
- ・本校の研究テーマ「生涯学習」から見えてきた成果や課題を指導助言で伝えている。
- ・本校研究で得た知見全てを活用して指導している。
- ・生徒の思考を可視化する本校の研究であるミエルトーク。

<キーワード「活動（出現頻度：5）」関連>

## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・各教科特有の「見方・考え方」を働かせた学習活動の在り方。
- ・子どもの自発的活動としての遊びを引き出すための環境の設定について考えられるようにする。
- ・学習活動における、対話に基づく省察の場の設定や「ふり返り」での学びのつながりを意識した省察の在り方。
- ・話し合い活動（ミエルトーク）。
- ・思考の可視化を図る活動。

<キーワード「対話（出現頻度：5）」関連>

- ・仲間との対話。

<その他のキーワード>

- ・ミエルトーク(2)
- ・MI（得意な学び方のスタイル）について。
- ・「心の動き」に着目した支援。
- ・ミエルトークの活用。
- ・教材を俯瞰的に読む。評価して読むという実践を実習生に提案する。
- ・保育と環境について。
- ・個別の教育支援計画を中心とした教育課程の編成について。
- ・園児が主体的に遊べるための援助。
- ・子ども主体の生活を実現できるよう、子どもの内面を丁寧に見取り、寄り添うような援助を心がける。
- ・ねらいと評価の一体化。
- ・批判的思考力をはたらかせて考えることで考えを深められる。
- ・本人主体の個別の教育支援計画。
- ・生涯学習力。
- ・私の応援計画を活用した指導等の立案。
- ・解決過程において省察の場面を適宜、効果的に設定すること。
- ・課題設定や問い直し、小集団での話し合いで思考を深めること、振り返り。
- ・NES評価。

\*各回答に含まれる出現頻度の多い検出単語をもとに分類・整理。検出単語が重複する回答は、出現頻度の多い検出単語に整理。



## 教員養成研修プログラム改善調査

いので、事前指導で伺うときかその前に大学の担当の先生と連絡を取り合う。

- ・参観の仕方や挨拶などを大学で事前指導。
- ・指導案や日誌の書き方について、実習の前に大学で学ぶ機会があってもいいのではないか。
- ・教育実習の直前や開始後に実習を辞退したり、延期することが判明するケースも見られたため、大学と実習生との連絡を密に行う必要があると思う。
- ・学生に勤務時間内に指導が終わるように指導内容を精選する。内容については大学の教育実習で何を狙うのかとのすりあわせが必要だとは思いますが…
- ・中学校の担当教員の負担が大きい。実習期間の大学職員のサポートとしての派遣は可能だろうか？

<キーワード「授業（出現頻度：6）」関連>

- ・道徳科や学級活動の授業を担当すること。このことにより更に生徒理解が深まる。現状から一つレベルアップさせるとすればこの指導を体験することではないか。

<キーワード「実習生（出現頻度：6）」関連>

- ・実習生が協働して取り組める活動があってもいいと思います。
- ・教育実習に専念するために、授業を午前のみとし、午後は振り返りや評価、授業の準備にあててはどうでしょうか。現状は8：00出勤18：00退勤であり、現場に出る前に8時間超勤務を実習生に強いるのは改善すべきと考えます。
- ・教育実習生が事前指導の段階で実習に向けた自己の課題（何を学びたいか）を明確にもつことができるようにする。
- ・実習生の授業づくりに対する指導時間の確保。
- ・実習生の実習に対する気持ちの個人差が大きい。
- ・模擬授業の経験、指導案の基本的な書き方を講義等で経験したり学んだりしている実習生は実習でも戸惑わずできている。先輩から講義の中で学ぶような機会があるとよい。（研究室によっては行っているのかもしれませんが）。

<キーワード「事前（出現頻度：5）」関連>

- ・事前に実習の何をどれくらい学んだのか実習校園に教えてほしい
- ・教育実習の事前事後で学生が何を学び、どのような評価をしているのかをビジュアル化する。

<キーワード「コロナ（出現頻度：4）」関連>

- ・コロナ禍の中での実習日確保。
- ・コロナ対策と実習の両立。
- ・コロナ禍の対応、教職希望とそうでない学生の温度差。
- ・アイデアは難しいですが、コロナ禍で制限が有る中でも生徒と十分に関わることで得られる成果（適性含む）をどう生み出すかが課題だと思います。

<キーワード「ポートフォリオ（出現頻度：4）」関連>

## 教員養成研修プログラム改善調査

- ・ ポートフォリオの電子化
- ・ ポートフォリオの指導助言の簡素化(印のみ)。
- ・ ポートフォリオをデジタル化するなど、紙ではなく、デジタル化できるものはなるべくそのようにできれば多忙化解消になると思う。
- ・ ポートフォリオを書く際の注意点について、附属四校園で統一、共通理解されているとよいと感じる。

### <その他のキーワード>

- ・ 実習のための実質的な日数が減っていることから、事務的内容に係る負担の軽減や効率化が必要だと思います。例えば、実習日誌を電子化して指導教員との事務的やりとりを可能な範囲でメール利用をすとか、現在の実習日誌の形だと、作成した学習指導案や配付された資料を小さくたたんで貼り付ける必要があるので、ファイル形式にするなどの工夫・改善をすべきだと思います。
- ・ 教員志望者と企業就職希望者の実習に対する意欲差があるように思います。就職希望先で内容を変えてみたらどうでしょうか。
- ・ 観察による実習はやはりかなり制限が大きく、模擬授業では子ども達の反応を感覚的に受け止めることができないと思われる。感染対策を講じた上で、やはり実習中に対面授業を1時間は行えると良いと考えます。
- ・ 実習以前に学校現場や授業参観の機会の保障
- ・ ねらいを絞ったスマートな教育実習にする
- ・ 教科によって授業実践数にばらつきが出てしまうので、配置する人数を調整する。
- ・ 教職員にならない人には必要がないと思う。

教員養成研修プログラム改善調査

IV クロス集計

		学生・大学院生	学部・大学院教員	附属学校園教員
学部あるいは大学院の授業の中で、附属学校園の研究成果を取り入れた授業があるか。 【学生・大学院生用：質問1、学部・大学院教員用：質問1、附属学校園教員用：質問2】	ある	30.0	37.3	9.5
	ない	70.0	62.7	90.5
教育実習及びその前後で、学部や大学院の授業での学びが役立つか。 【学生・大学院生用：質問2、学部・大学院教員用：質問2、附属学校園教員用：質問3】	はい	39.3	43.3	17.6
	いいえ	60.7	56.7	82.4
「役立つ」と答えた人に伺います。役に立った内容は、どの研究成果でしたか。当てはまるものを選んでください。 【学生・大学院生用：質問2-2、学部・大学院教員用：質問2、附属学校園教員用：質問3】	附属	53.5	42.9	53.8
	その他	46.5	57.1	46.2
附属学校園での実習で、附属学校園の研究成果を踏まえた指導を受けているか。 【学生・大学院生用：質問2-2、学部・大学院教員用：質問2、附属学校園教員用：質問3】	受けた	7.0	42.9	53.8
	受けていない、またはわからない	93.0	57.1	46.2
現在の教育実習について、課題だと思うことはあるか。 【学部・大学院教員用：質問3、附属学校園教員用：質問3】	ある		37.3	48.6
	ない		62.7	51.4

秋田大学教育文化学部  
教員養成・研修プログラム検討ワーキング

- (委員長) 成田 雅樹 (学部教育実習実施委員会 (推薦))  
(副委員長) 佐藤 学 (学部附属共同委員会教育実習部会)  
(委員) 鎌田 信 (学部附属教職高度化センター長)  
田仲 誠祐 (学部附属共同委員会教育実習部会 (教職大学院))  
細川 和仁 (学部附属共同委員会教育実習部会)  
若有 保彦 (学部附属共同委員会)  
原 義彦 (附属学校園代表)  
藤井 慶博 (附属学校園代表)  
村上 美紀 (附属幼稚園教育実習担当)  
菅野 宣衛 (附属小学校教育実習担当)  
江畑 美香 (附属中学校教育実習担当)  
斎藤 明 (附属特別支援学校実習担当)  
(事務局) 三浦 亨 (学部附属教職高度化センター)